



編集者 高橋 英一

法人本部・生活支援センター
〒314-0016
茨城県鹿嶋市国末1539-1
TEL 0299(82)6464
FAX 0299(83)3261

鹿島育成園(児童寮及び育成寮)
〒311-2401
茨城県潮来市大賀438-4
TEL 0299(66)3439(代)
FAX 0299(66)3431

<http://www.kashima-ikuseien.com/>
mail:kaikusei@eagle.ocn.ne.jp

定価 100円



育成寮夏行事 ～うちわ作り

寄り添う事

園長 高橋 英一

猛暑から一転秋の気配が感じられるようになりましたが、皆様はいかがお過ごしだったでしょうか。

今年度はこれまで以上に社会貢献に力を入れ、6月に当法人の顧問である発達障害者専門医の金野公一先生を仙台から招き、潮来市から応援もいただき、「発達障害の見立て」という演題で講演会を開催しました。当初20名位の勉強会という設定でしたが、70名近い参加希望者があり会場を替えての講演会になりました。

金野先生は医師になられた経緯を話される中で、ご自身の障害のある弟さんの事にも触れられ、お母様の苦勞を目の当たりにして、医師になる道を選択されたそうです。一番強調されていたのは、「寄り添う」という事でした。障害のある方と家族にどれだけ寄り添ってこれただろうか。それを改めて考えさせられた機会になりました。



研修報告

児童寮 看護師

植田美智子

今回「ミュージックケア」という研修に参加しました。音楽に乗せて、リーダーの指示の下に楽しく身体を動かしたり、鳴子や鈴、太鼓などの楽器を使用したり、ボールやシャボン玉等を使って皆で同じ動きをして楽しむ音楽療法を学びました。音楽はクラシックから今流行りの曲まで様々な物が使われ、参加する人たちの興味を引く様に工夫されていました。

研修終了時には「先生、たのしかったよ。」「今度はいつ来るの?」等と満面の笑みで話す子どもたちを見て、私も思わず笑顔になりました。

この「ミュージックケア」の特徴は、集団行動を苦手にしたリ、スムーズにいかない子どもでも音楽に乗せた行動をすることにより楽しく参加できる点に

あります。

ミュージックケアで学んだ事を生かして、子どもたちと一緒に笑顔で楽しめる遊びを増やしていこうと思います。



♪音楽に合わせ♪

みんなノリノリです!!



個別支援計画から

育成寮 支援員

平川順一郎

Aさんは、歩行が小刻みなため移動には時間がかかりますが、転倒による大きな怪我をする事なくこれまで生活してきました。しかしADLは残念ながら年々徐々に落ち、小刻み歩行はますます顕著になりました。

部屋から食堂までの移動は、通常であれば1分もかからない距離を15分から20分かけて移動する日がAさんにやってきました。立位の安定も低下しています。「今までと同じ様に日常生活を送って欲しい」「でも骨折など、万一の怪我は避けたい」「自立歩行と転倒・受傷回避」男子ホーム担当チームで話し合い、今は必要に応じて車椅子を使用し、安全に移動しています。

勿論、「自由に移動できるよう」に「この気持ちは支援員みんなが持っています。」

今日までを振り返る時、様々

な思いが浮かんでは消えます。適度な運動による脊柱起立筋維持、下肢筋力の向上等。中々思った様にはいかなかった・・・日々が学びとなる毎日です。

鹿島育成園

ギャラリィ

育成寮 ポプラ班 作品

☆結び織り☆



収穫祭展示販売に向けて製作中♪



多機能型事業所
アイリス

支援員 佐藤 哲

清掃班グループは夏から初秋にかけて正念場であります。外部から依頼される除草作業やハウスクリーニングは、熱中症や事故に気をつけながら草刈りや清掃を行っています。暑さ対策では水で冷やしたタオルを定期的に首に巻き冷やししながら、飲み物に少しだけ塩を混ぜて利用者に提供しています。特に氷は利用者のモチベーションも高くなります。

毎年、嫌になるほどの暑さの中でありますが、黙々と作業に取り組み、笑顔で毎日元気に挨拶してくれる、疲れを知らない利用者の姿は、それに負けないと自分たち職員も踏ん張れますし、励みにもなります。大変ではありますが、大空の下で皆とともに働き、ご飯を食べるといふのはとても貴重な経験であると感じるこの頃です。

障害者就業・生活支援センター
まっぼつくり

第一回連絡協議会 (7/16)

統括主任 荒井 俊光

令和元年度 第一回運営連絡会議を7月16日鹿嶋市まちづくり市民センターで行いました。茨城労働局職業安定部職業対策課 地方障害者雇用担当官 鈴木様から茨城県内の障害者の雇用情勢について講話を頂きました。茨城県高次脳機能障害支援センター センター長 小原様からセンターの説明及び高次脳機能障害者の特徴等について講話を頂きました。当センターは昨年度の実施報告及び今年度の重点支援について講話をしました。

今後も引き続き障害者雇用促進法を基に日々の支援及び運営を行っていきたいと考えています。また、地域のニーズや社会情勢等も考慮した上での支援も心掛けてきたいと考えています。



グループホーム便り

主任 貝塚 卓弥

炎天下続きの毎日で気分が滅入ってしまうが、この夏が来るのを毎年心待ちにしている利用者もいる。50歳代の男性Kさんは、別のグループホームに入居している妹や静岡県で暮らしている妹、他法人の施設で生活している弟たちと「かんぽの宿」に宿泊し、みなさんでお墓参りに行ける夏休みが1年で一番好きだという。



ホームでは少々頑固者で通っているKさんだが、兄妹のなかでは笑顔が絶えず、誰かがどこかに行く時は「兄ちゃんが一緒に行ってやる」と必ず付き添う。職員が飲み物を買に行く時も付き添ってくれる(笑)

夏の一場面

オリジナルの
うちわを作ろう！

育成寮



北浦にてフィッシング！！



何気ない会話に、どこか優しさを感じる。今夏も兄妹揃ってお墓参り！の予定だったが、あまりに暑いので秋に延期となった。これから秋が一番好きな季節になるかも知れない。

Let It Go ありのままに～

就業生活支援センター

高須 裕子

時間を見つけては、大衆演劇を観に子供と一緒に出掛けます。東京都内以外は車でどこまでも運転し、車中泊する事もあります。出

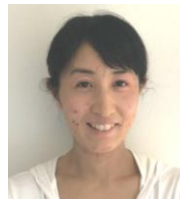
かける事は観劇が趣味になる前から好きでしたが、大衆演劇を15年以上も見続けるとは思いませんでした。何がそんなにいいの？と言われますが、遠征し美味しい物を食べ歩き温泉に浸かった後の一杯。芝居では目が腫れるほど泣いたり筋肉痛になるほど腹を抱えて笑う事もあります。感情を素直に出す事がストレス発散になっています。最近では観劇に加え、神社を回り御朱印を頂いて神様に感謝しています。家族揃って同じ趣味を持てる事も幸せな事だと思います。



新任職員紹介



鵜崎 邦司 アイリス
利用者並びに保護者の方々が「将来の不安」を少しでも和らげられるように努力して参りたいと思います。



横田 望 アイリス
心を込めて、お菓子作りを頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



山口 吉大 育成寮
皆様にいろいろ教えていただき仕事もだいぶ慣れてきました。今後も皆様においしい料理を提供したいと思います。



薄井 恵 育成寮
皆さんが笑顔で楽しく過ごせるように頑張っていきたいと思います。



夏……ついで

耐え難い暑さの中でも、皆さんそれぞれ作業に、子どもたちも遊びに熱心に取り組んでいました。帰省した人もいない人も元気に秋を迎えられそうです。

夏の二場面



児童寮
バーベキュー

寄付・寄贈・招待

ホリジョイサーカス・
東京善意銀行様(東京都)
サッカーACL試合・
鹿島アントラーズ様(茨城県)

行事予定

9月

8日 育面会日・保護者会
14日 アイリス バーベキュー
13日 児 お月見会
16日 育 潮来市敬老会
18日 育 日帰りバス旅行

10月

2, 3日 育 一泊バス旅行
5日 児 認定こども園こじか幼稚園
9, 10日 児 支援学校小学部修学旅行
12, 14日 アイリス いきいき茨城ゆめ
国体2019(笠松運動公園) 出店
19, 20日 アイリス 神栖消費生活展
(かみす防災アリーナ) 出店
20日 育 面会日

11月

2日 児 鹿よう祭
9日 児 親子ウォーキング大会
10日 育 児 収穫祭

編集後記

トマトにナス、キュウリ…これが我が家の夏の家庭菜園の定番である。愛犬ミルは家族の目を盗んでは、その場でかじりついている。私にとっては、毎年恒例の夏の一場面である。

(矢野)